

天王山、福岡で革新勝つ

売上税撤回へ拍車、中曽根自民党窮地に



12万票差で奥田知事再選

全国的に自民敗退、社・共が躍進

統一地方選
前半戦

統一地方選前半戦の「天王山」のたかひと全国的注目をあつめた福岡県知事選で、奥田八二候補は即日開票の十二日午後十時過ぎ、開票率二・一％の時点で当選確実となり、保守・中道(自公民)推薦の田中健蔵候補を破つてみごと再選をほたし、革新県政を守り抜きました。北海道では横路候補が圧勝、同時におこなわれた道府県議選でも自民党が大きく後退し、社・共の革新勢力が躍進、売上税の成否はもとより、中曽根政治に痛打を与え窮地に追い詰めたことから、後半戦での一層の前進が期待されます。

自民党が「県政奪還」のために総力をあげ、保守・中道連合の激しいたたかひとなった福岡県知事選は、田中陣営の急進で接戦が伝えられましたが、十二万七千票の大差をつけて圧勝しました。奥田候補の勝利は、売上税への県民の怒りの結集であり、さらに開かれた県政、四年間の革新県政の実績にたいする評価でもありました。これは県下まんべんな

自民党が「県政奪還」のために総力をあげ、保守・中道連合の激しいたたかひとなった福岡県知事選は、田中陣営の急進で接戦が伝えられましたが、十二万七千票の大差をつけて圧勝しました。奥田候補の勝利は、売上税への県民の怒りの結集であり、さらに開かれた県政、四年間の革新県政の実績にたいする評価でもありました。これは県下まんべんな



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市入船町1番地
電話(53)3033~4
編集兼
発行人 杉本一男
半年間 1,800円 送料共
振替口座番号
労働金庫大牟田支店
825-0000569

統一地方選後半戦へ

前半戦の躍進をバネに

公認・推薦候補の全員当選を

(二面に公認・推薦候補を紹介)

福岡県知事選結果

候補者	今回	前回
当 奥田 八二 (革新前)	1,263,123 (大牟田市 51,327)	1,221,622 (大牟田市 50,980)
田中 健蔵 (保守新)	1,135,196 (大牟田市 34,761)	1,171,510 (大牟田市 40,664) (前回は亀井光候補)

全県有権者数 3,318,789人 投票者数 2,429,203人 投票率 73.20%
大牟田市有権者数 116,950人 投票者数 87,181人 投票率 74.55%

福岡県議選結果

(大牟田市・三池郡区)

候補者	今回	前回
当 下川 忠範 (共新)	21,950 (21,055)	17,629 (17,130)
当 長谷川 為美 (社現)	21,090 (19,109)	23,341 (21,426)
当 山中 孝助 (自現)	19,995 (16,917)	22,079 (18,567)
当 高岡 新 (無元)	16,667 (13,936)	21,329 (18,331)
当 石橋 進 (民現)	16,060 (14,297)	17,662 (15,814)

()内は大牟田市分

有権者数 129,923人 投票者数 97,855人
(大牟田市有権者数 116,950人 投票者数 87,128人 投票率 74.50%)
三池郡有権者数 12,973人 投票者数 10,727人 投票率 82.69%

熊本県議選結果

(荒尾市区)

候補者	今回	前回
当 酒井 善為 (社元)	13,715	12,075
当 前畑 淳治 (自現)	12,443	12,356
当 北園 敏光 (共新)	1,494	

有権者数 45,752人 投票者数 28,217人 投票率 61.67%

地底

▼この一月月の雨量は昨年の倍にもなるという。「四月のちゃんちゃん」といわれる「花冷え」も、列島中を揺がす売上税反対の声に、お呼びのかからない中曽根首相「天気が悪くて、投票率が低くて」と、こぼす。

▼「奥田さんが勝つて本当によかった」との実感がひしひし。中曽根首相直々に三百社の首脳に要請。竹下幹事長も大牟田入りして港俱樂部で「企業ぐるみ」にハッパ。何十億も金を注ぎ込んだとか。それでも歯止めはかからない。県民の良識の勝利である。三池の労働者も「産業空洞化」に加担する候補を選ばなかった。

▼「国政と地方政治は別」という論法は通用しない。核も税もどぶ板も同じ政治であることを地方選の結果は教えている。「税制改革は仕切り直し」「売上税は断念」。しかしひまをもてあました首相「勉強」の結果、どんな「ウソとベテ」に出るか。記録的大敗の「衝撃と誤算」は、確かに「一重たい後遺症」を残した。

▼「劇的な審判」「雪崩的勝利」は、はつきりと中曽根政治を断罪したが、「中曽根さんのおかげ」いわば三百議席におこる「揺れ戻し」。「敵失」もある。「内憂外患」で「難しい風」が吹き、早期退陣論が浮上するなかで、ニセモノを明らかにし、ちゃんとたたかひこそが今後の課題。「もって銘すべし」である。

▼J.C.、私鉄大手などの決着で民間春闘のヤマ場を越え、攻防の舞台は郵政など四現業や地場中小のたたかひへ。炭労の春闘は五月の連休以後となるが、要求額は一方二百三十円。昨年はゼロだっただけにもうガマンの限界。住友赤平の五百人削減、砂川の閉山を含む三井の合理化をのり越えてくらしを守るたたかひへー。

大牟田・長谷川氏(2位) 荒尾・酒井氏(1位) 連続当選

県知事選で奥田候補が全国的に田中候補を圧倒し、大牟田市でも前回を上回る一万六千票以上の差をつけたが、大牟田・三池郡区の県議選では長谷川為美候補が支持母体の各組合が相次ぐ合理化で人員減というきびしい状況の中

で奮闘し、奥田知事の当選とほぼ同時に当選を決めました。長谷川氏は自派の票を最少限に抑え、二期目の抱負を「奥田県政のかすがい役を果たし、大牟田を有明地域の中心にした活性化をめざす」と決

下川氏(中)トップ当選

激戦の県議選大牟田・三池郡区で、前回最下位に三十三票差で惜敗した下川忠範候補(共)は四千票の復興を」と語りました。

長谷川為美氏

酒井 善為氏